



2018.12 No.176

横浜北生活クラブ生活協同組合
〒224-0042 横浜市都筑区大熊町 187-1
FAX 045-548-3289
・発行 2018.11.5・発行者 理事長 三浦 紀子
・編集 機関誌編集部・発行部数 17500 部



新米の季節



美味しく
できたよ！

生活クラブのお米を食べよう！

～「食べること」でつなぐ農業の未来～

私が加入して半年くらいたった頃に、お米の生産者交流会に参加させていただきました。

生活クラブの取り組みや、消費材の細やかなこだわりなど初めて見聞きして感心と驚きに満ちております！

減農薬栽培、循環型農業の実践、私のできることは「食べること」も大切な役割ということ、心の深いところで受けとめる機会になりました。

農業はできれば避けたいな…くらいのレベルの私には、お米の農法についての話や、地域によって農薬の基準が異なるという情報は、なるほど、ふんふん関心が高まるお話ばかりでした。

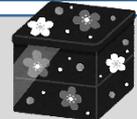
その中でも、「私たちが作っているお米＝自分たちが食べたいお米」という農家さんの言葉に、真摯に取り組んでいらっしゃる熱いポリシーを感じ、しかもそれを実現する為には、完全な休日は年間5日ほど。その貴重なお休みを2日割いて交流会に参加されているとか…。本当に頭が下がる思いです。精魂こめて作



るお米は、食べる人がいてこそ持続可能な農業に。今年度、生活クラブの組合員の為に作られているお米が、約2500俵（150トン）の食べ残しが予想されるそうです。私には安心安全の消費材を生み出すことはできませんが、丹精こめて作ってくださった消費材を食べることで果たせる役割があるのだと感じます。

(つましまデポ一組合員 矢川 恵子)

クリスマス・お正月(クリ正)用品も生活クラブ品質で！



人が集まるときには、“時短でおいしいメニュー”ってとっても便利です。だからと言って大切な家族やお友達に食べていただくもの、安心・安全もはずせません。牛肉やエビなどを使った豪華なメニューもこの時期ならではの、食卓を華やかにしてくれます。

生活クラブの消費材なら、自信をもって持ち寄りパーティーにも持参できますよ！

◆予約し忘れはないですか？

クリスマス・お正月(クリ正)用品も生活クラブ品質で！
クリ正予約でしか手に入らないものや、この時期の予約が一番お得になるものもあるので、予約し忘れがないか、カタログをくまなくチェックしてください。

特に新規品は毎年生産者が今どきのトレンドもいれつつ、味、内容を考えてくれています。その思いも一緒に手に取ってもらいたいです。準備万端！楽しい年末年始を迎えましょう！
(理事 土肥 美穂)

エッコロプラス学習会 報告

～9/11、20に学習会を開催しました～

エッコロプラスは、エッコロ共済のオプションとして2016年からはじめた、生活クラブ神奈川独自のたすけあいの仕組みです。これから取り組むエリアもあることから、組合員リーダーを対象に、エッコロプラス学習会を開催しました。講師には、ユニオン副理事長の君島周子さんとエッコロプラス事務局の森芳京子さんをお招きし、とても大切なことを学ぶことができました。



いろいろな意見がでたグループ討議

エッコロプラスの目的は、30年前にエッコロ共済が生まれた時の理念と変わらない「私たちの住む地域社会にたすけあいをいとわない仕組み」をつくるということ。困っている人が孤立しないよう、地域のたすけあいのつながりづくりのために組合員が作り出したしくみです。「たすけあいの心を仕組みにした」ということを、参加者全員で実感し、エッコロプラスの賛同の輪を広げたい、横浜北全域に広げていきたいという気持ちを確認できた学習会でした。

これからさらにおおぜいの組合員に、配布物や企画やデポフロアの掲示で、エッコロプラスのことを知らせていきます。組合員が作り出した、組合員のための仕組みエッコロプラスにぜひ注目してください。

(理事 荒井 喜久美)

コモンズ組合員限定 チラシまき情報ワークメンバー大募集です！

班・個配情報ワークのおかげで、仲間づくりが進んでいます！！

チラシまき情報ワークは、組合員のみなさんがお住まいの地域に、チラシを配っていただくポスティングワークです。このワークはなくてはならない、拡大活動の一つで、効果的に地域の人に生活クラブをアピールできるものです。

3月のカンブリア宮殿放映後、問い合わせ310件、加入95件もの反応は、この情報ワーク活動があっ

てこそその成果です。

今回は新しく組合員になった方、ベテランの方の登録もお待ちしています。ウォーキングや子どもといっしょにお散歩など、ちょっとした空き時間を使って、お財布にもうれしいワークで（1ワーク1500円の還元）生活クラブの輪を地域に広げてください！

〈情報ワークについて〉

- ・集約を切り取り配達便で提出ください
- ・登録期間は半年で自動継続
- ・月500枚配布1ワーク（2ワークまで登録可）
- ・情報ワーク還元金1500円は消費材購入代金との相殺
- ・チラシ配達期間はなるべく2週間（天候や体調の都合で難しい場合は1か月でもOK）
- ・途中解約も可能



矢向センター長
山下 晃

ポスティング業者より組合員さんが配布する方が反応があるんです。丁寧さが違うんだと思います。私たちがんばりますので協力お願いします！

切り取り

緑・矢向センター行

班・個配情報ワーク集約用紙

① 情報ワークに登録します

② 詳しく内容を知りたい

①か②に○をつけて、配達担当者にお渡してください。

() コース お名前 () 組合員番号 ()

庄内交流会報告

「庄内交流会」という「熱い」組合員企画をご存じですか？私は、本年7月23～25日に行われた「第45回庄内交流会」に参加しました。遊佐のお米や農産品、平田牧場などでおなじみの山形県北端に位置する庄内平野。交流会の目的のひとつは、庄内の農業や畜産の現状を学び、共同購入とどのように結びついているか理解することです。全国の組合員リーダーなど67名が参加、生産者側も総勢約100名の方が関わっていただきました。

3日間で、平田牧場ミートセンターをはじめ、月山パイロットファーム、杉勇蕨岡酒造場、メガソーラー建設現場、せっけんミニプラント、遊YOU米の圃場(田んぼ)、



パプリカのハウス、平田工房を見学、さらに生産者との意見交換会にも参加しました。庄内の美味しいものがずらりと並んだ宴席では、遊佐の方々と一緒に「お米音頭」を踊ったり歌を歌ったりと、私にとっては驚きの展開でしたが(笑)、庄内の生産者と生活クラブのおよそ45年に渡るつながりの強さを実感しました。

どの生産者も生活クラブとの提携の中で、農薬や添加物を減らしたり、施設を改善したりとそれぞれに様々な努力を重ねてきています。組合員として「生産者に会う」「食べて支える」「伝える」ことが自分にできることだと実感しました。



同期間に開催された「庄内子どもキャンプ」には、小学2年生の息子が参加。自然豊かな鳥海山の麓で、たくさんの思い出を作ったようです。

(理事 伊集 直子)

米

大豆

麦

種子法ってなあ～に？

第2弾

前号では種子法のこれまでの成果を簡単にお伝えしました。この法律が私たちの食生活を守るために大切なものと明らかなのに、なぜ廃止しなくては行かなかったのかと疑問に思います。そもそもこの種子法を廃止しなくては行けない理由は何だったのか？

国は、種子法があることで「民間企業の参入を阻害している」と廃止を決めてしまいました。たったこれだけの理由です。これは大変怖いことだと思います。民間の大企業の利益のために、日本の公的な種子制度をあっという間に壊してしまいました。私たちの誰もが生きていくために必要な「食料」が、利益を生むだけの目的で使われてしまうのです。

種子は先祖代々、多くの人たちが自然とともに育み、受け継がれてきた共有の財産です。「種子を制するものは世界を制す」という言葉があります。種子がなくなれば作物は育たず、私たちは生きていくことができません。

種子は誰のものなのでしょうか？企業の利益のために支配されるものではなく、みんなのもんです。どこかの企業が独占し支配していい種子はどこにもありません。しかし、そんな不審な動きは現実起きています。種子法廃止で、私たちの生活にどのような影響があるのか、起こりうる問題について第3弾で考えていきたいと思えます。(理事 稲村 美保)

～ 横浜市に政策を提案する！の巻 その1 ～

～2018 政策提案運動報告～

Q.1 政策提案運動ってなに？

政治と聞くと少し身構えちゃいますか？でも政治という言葉の本来の意味は「住んでいる町がどうなったら住みやすいのかを考えること」であって、政治家や行政の人たちにお任せするものではありません。日々暮らしている中で、「こうだったらいいのに」と気づいたことをおおぜいの仲間と話し合い一致して横浜市長に届けることを、市民政策提案運動と呼んでいます。昨年に引き続き、今年度も生活クラブ運動グループ6団体で形成する横浜エリア連携協議会で取り組んでいます。

Q.2 どうやって提案を決めるの？

昨年の活動と行政の回答を経て、それを叩き台として提案を作成します。

協議会のメンバーには、介護、子育て、その他の事業者もいますので、現場目線での提案があり、さらにそこに組合員アンケートや聞き取り結果の分析を重ねて推敲します。また、フォーラムでおおぜいの組合員との意見交換のあと、横浜市役所の担当職員との協議テーブルを経て、最終を仕上げます。

Q.3 提案まで時間がかかるのね？

政策提案は市税の使い方に意見するものなので、税金という性質上、公平性＝よりおおぜいの納得が必要です。そのため、おおぜいの人がこの提案に賛同していることが、提案の根拠を強めることから、時間をかけて話し合いを進めています。

Q.4 どんな提案をするの？

高齢者福祉、子育て、環境、就労支援、給食の5つの分野の提案を検討しています。

次号では政策提案の内容についてとりあげます。

「提案運動に参加したい」「市の制度のここが不便」などご意見お寄せください。

下記の用紙に記入して、コモンズ(配達)の方は配達便またはFAX:045-548-3289で、デポーの方はFAXのみの提出をお願いします。(理事長 三浦 紀子)

理事長の

にこにこ晴天な日々



先日元総理大臣の小泉純一郎氏の講演会に出席しました。250席の会場が満席。首相時代は原発推進派だったが、3.11から初めて原発についての本を読み、原発が安全でも、クリーンなエネルギーでも、低コストでもないことが分かり、反原発派になった、あの時は官僚の言いなりだった…。それを聞いたとき、震災のときある若いお母さんが、原発が危険だなんて知らなかったと私に言ったことを思い出しました。一国の総理とお母さんが同じ認識でいいの？「過ちては改むるに憚ること勿れ」と小泉氏は言います。それはそうでしょう。でも…でも…。モヤモヤした気持ちのまま帰路についた私でした。

(三浦 紀子)

緑センター行き FAX : 045-548-3289

機関誌『風』に意見や感想など書いてお送りください

コモンズ・デポー名 () お名前 ()

第5回定例理事会報告(抜粋)10月10日

討議事項

1.2019年度活動計画策定討議の
進め方と基本総括基本方針案

3.2019年度社会運動カンパ計画、
ヒロシマ・せっけん運動方針

報告承認事項

1.2018年度Fチーム・消費材開発チ
ーム活動総括
2.エコプラス推進活動中間点検と
今後の対策

4.フードバンク(フードドライブ・カンパ
等)への参加方針
5.社会的擁護下にある若者を支援す
るためのカンパ活動計画

18年9月末組合員	18年9月末供給高
班 740人	班 2,008万円
個配 7,053人	個配 16,614万円
デポー 9,610人	デポー 14,263万円
未組織 36人	
合計 17,439人	合計 32,885万円

※9月は組合員人数は確報、供給実績は速報
(合計値の誤差は数式の小数点以下の四捨五
入から生じています)